

Smart Structures/NDE

出張報告書

作成日：2013/03/22

文責：同志社大学大学院

工学研究科 機械工学専攻

構造工学研究室 M2 青山 涼平

学会名：Smart Structures/NDE

主催：SPIE

開催期間：Mar 10-14, 2013

開催場所：Town & Country Resort and Convention Center, San Diego, California, USA

研究題目と発表者：Fatigue damage evaluation of plain woven carbon fiber reinforced plastic (CFRP) modified with MFC (micro-fibrillated cellulose) by thermo-elastic damage analysis (TDA)

Ryohei Aoyama, Kazuya Okubo, Toru Fujii

同道者：なし

発表形式：Poster session

学会 HP: <http://spie.org/x10.xml?WT.svl=mddh1>

私は2013年3月10日～14日(アメリカ時間)にアメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴで開催された、SPIE主催の“Smart Structures/NDE”に参加しました。下記にその詳細を記します。

《伊丹空港から San Diego 国際空港 (USA) へ移動 (出国) 》

3月10日午前に伊丹空港を出発し、成田国際空港を経由して San Diego 国際空港に到着しました。San Diego 国際空港に到着した時刻は現地時刻3月10日の午前でした。San Diego 国際空港からタクシーを利用して学会会場兼宿泊場所に向かいました。その後、会場に向かい学会参加の手続きを行いました。

《Smart Structures/NDE に参加》

Smart Structures/NDE は測定技術に関する研究が数多く発表される学会です。発表分野として非破壊検査に関する分野で参加しましたが少数でした。この国際学会に参加するに当たり、前刷り原稿作成や登録手続き等、参加するまでの事前準備に大変苦労しました。前刷り原稿と発表練習は期限の1ヶ月前から大窪先生に何度も添削をして頂きました。今回参加したポスター発表は懇親会を兼ねた発表の場になっており、和やかな雰囲気の中で行われました。聞くところによるとこの学会は若手の研究者が多く参加する学会のようです。そのためか、それとも測定技術に関する研究が多く発表される中で非破壊検査方法の

有効性を調べた内容を発表したためなのかわかりませんが、質問がほとんどありませんでした。内容としては試験片を手を持っていたのでこれが CFRP なのという程度の会話でした。他の掲示されているポスターを見て、やはり分野が異なるので内容はあまり理解できませんでしたがポスターの書き方が国によってかなり違うという印象を受けました。固定観念が取り払われた感覚でした。

《San Diego 市内の観光》

今回の会場はリゾート地であったため、学会会場となっているホテルの周りには海岸沿いの遊歩道やゴルフ場、ショッピングモール以外何もない環境でした。そのため移動手段の主が車と観光するにはとても不便な場所でした。タクシーで南に 30 分ほど乗ると観光スポットがあります。今回はそのうちの 1 か所に行きました。ガスランプ灯が残る珍しい地域です。北に 30 分ほど移動するとダイビングのできる場所や動物園などがあるようです。国土が広いからこそできる都市であることを感じました。

《San Diego 国際空港から成田国際空港へ移動（帰国）》

ホテルから San Diego 国際空港までの移動は到着時と同じくタクシーを利用しました。San Diego 国際空港はかなり小さく空港内にお店は 3 店ほどしかありませんでした。3 月 15 日のお昼頃に San Diego 国際空港を出発し、16 日夕方に成田国際空港に到着しました。その後の関西までの乗り継ぎの便の到着時刻が遅く、自宅まで帰ることが不可能であったため成田空港から鉄道を利用して帰りました。

最後になりましたが、このような素晴らしい機会を与えてくださった藤井先生、大窪先生および当研究室の皆様に深く感謝いたします。



Fig.1 Smart Structures/NDE 会場

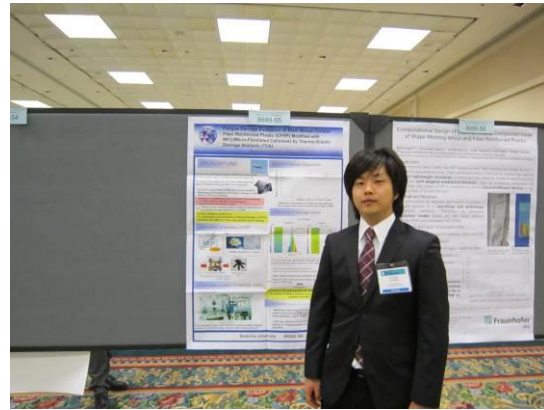


Fig.3 展示されたポスターの様子



Fig.2 空港近くの海岸沿い



Fig.4 Downtown